

FURUTECH

Review

Audio Accessory

2011 AUTUMN 142 - Japan



ADL (ALPHA DESIGN LABS) CRUISE ¥39,900 / USB DAC
内蔵ポータブル・ヘッドフォンアンプ

●入力: USB×1, 3.5mmステレオミニ×1 ●出力: 3.5mmステレオミニ×2 ●S/N比: 100dB(ライン入力), 96dB(USB) ●電源1: DC5V, 2000mA, 10Wスイッチングアダプター ●電源2: DC3.7V, 940mAh Li-Ion充電電池 ●ヘッドフォン出力レベル(最大): 78mW(12Ω), 94mW(16Ω), 110mW(32Ω), 98.6mW(56Ω), 23mW(300Ω), 16mW(600Ω) ●ch分離: 60dB(1kHz) ●全高調波歪: 0.02% (ライン入力, 1kHz) ●周波数特性: 20Hz~20kHz(1kHz, USB入力, LINE入力) ●サイズ: 65W×120D×28Hmm ●重量: 198g

Text by 岩井 喬 Takashi Iwai
Photo by 田代法生

iD-35SP
※価格はラインアップ参照

- 型式: 3.5mmステレオミニラインケーブル ●導体: 10/0.12シルバー・プレーテッドφ-0CC ●シールド: アルミ, 40/0.12a処理銅バー ●絶縁: PVC ●ラインアップ: ストレートタイプ→0.15m(¥4,410), 0.6m(¥4,935), 1.2m(¥5,890), 1.8m(¥6,825), 3.6m(¥9,660), 5.0m(¥11,865), L字タイプ→0.15m(¥4,725)
- いづれも取り扱い: フルテック(株)

ハイレゾ音源からモバイルまで 高音質リスニングを約束するADL「CRUISE」

さまざまなリスニングを可能とした細部までこだわり抜かれたモデル

ヘッドフォンユーザーの多くはUSBなどの携帯プレーヤーとPCにオーディオプリアンプを接続して楽しむネットオーディオの世界を両立されていることと思う。ここ数年、そうしたユーザーに向けて、魅力的なヘッドフォンアンプが数多く登場しているが、現在一番注目されているのがUSB DACつきポータブル・ヘッドフォンアンプであろう。アウトプットでは安定した高音質が保てるワウフルなヘッドフォンアンプとして、自宅ではPCと接続したUSB DACつきヘッドフォンアンプとして楽しむことができ、一度で二度おいしいアイテムなのである。こうした情勢の中、オーディオアクセサリやケーブルを長年手がけてきたフルテックが展開するADLブランドから96kHz/24bit対応のポータブル・ヘッドフォンアンプ、CRUISEが発売されることになった。ADLはフルテックの中でも特にミドルクラス以下のオーディオ市場に着眼したラインアップ拡充を目指し、良質なコストパフォーマンスの高いアイテムを中心に揃えている。本機はオーディオミッドレンジのウイングを思わせる流麗なカーブを持たせたデザインが特徴的だ。アルミ合金本体にカーボンファイバーを施し、非磁性ステンレス鏡面処理のパネルに端子類を配置。リチウムイオン充電電池を内蔵し、ポリウムは高音質なロータリー型可変抵抗器を採用

用。USB入力はミニB端子仕様で、ミニジャックによるアナログ入力も装備。全ての通電金属部品には同社独自のαプロセス処理を施していることに加え、金メッキPCBを採用している点にも注目したい。対応インピーダンスは12V600Ωまでという幅広い対応範囲を持ったヘッドフォンアンプ部を含め、本格的に細部までこだわった仕様である。

なお、同社ではステレオミニケーブルiD-35SPも用意。今回、使いやすいう15cm長ものを新たにラインアップしたことで、さらに魅力を高めている。

タイトな傾向のiPod再生と豊かな倍音を聴かせるUSB再生

まずiPodをアナログ接続したサウンド(ヘッドフォン)にはシアSRH940を使用であるが、鮮度は高く、高域のハリ艶における豊かさが際立っている。オーケストラの管楽器は爽やかに浮き上がり、低域はキレ良くまとめる。ウッドベースは制動良く引き締めた胴鳴りを味わうことができた。ヴォーカルはソリッドな描写であり、ロックのリズム隊やエレキにおいてもタイトな傾向だ。続いてUSB入力のサウンドでは低域の厚みが増し、倍音感が一層リッチに伸びてくる。ヴォーカルの口元は艶良くウエットに際立ち、滑らかな肉つき感が得られる。ウッドベースのたわみ感もむっちりとした豊かな弾力感が加わり、一層音楽の楽しげな雰囲気は伝わるものだ。